



**全国で感染者数が増加しています
今こそストップ梅毒！**

令和6年10月2日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第39週分・9月23日～9月29日)

《インフォメーション》

●梅毒

梅毒は、梅毒トレポネーマ（細菌）を原因とする感染症です。主に、感染者との性的接触によって感染します。梅毒トレポネーマが粘膜や皮膚に感染すると、約3～6週間の潜伏期間を経て、感染部位にしこりや潰瘍が現れます（I期顕症梅毒）。数週間～数か月経過すると、手のひらや足の裏、全身に発疹が現れます（II期顕症梅毒）。無治療の場合、症状が消えても感染力は残っています。数年～数十年後に、皮膚や骨のゴム腫や、心血管系梅毒や神経梅毒が起こることがあります（晩期顕症梅毒）。また、妊娠中に感染すると胎盤を通じて胎児へ感染し、流産や死産、先天梅毒が起こります。

全国の梅毒患者報告数は2010年頃から増加し、2023年の報告数は15,078例と1999年の感染症法施行以降最多となりました（図：折れ線グラフ）。なかでも先天梅毒は2023年に37例が報告されました。2024年は第38週時点で既に10,452例の梅毒患者が報告されています。男性は20～50歳代、女性は20歳代が多くなっています。

一方、富山県の報告数は2021年に48例と感染症法施行以降最多となりました（図：棒グラフ）。2024年は第39週時点で31例（男性：20～50歳代20例、60～80歳代6例、女性：20歳代2例、40～50歳代3例）が報告されており、早期顕症梅毒（I、II期）の割合が8割（26/31）と高くなっています。未だに基本的な感染対策は不十分と思われます。

梅毒の初期症状である性器の潰瘍など、異変に気づいた場合には早めに医療機関を受診しましょう。パートナーも感染の可能性があるため、受診をお勧めします。感染予防としては、不特定多数との性行為を避けること、適切にコンドームを使用することが有効です。

梅毒はペニシリン系抗菌薬による治療が可能であり、4～8週間の抗菌薬投与後に抗体検査によって治療効果を確認します。妊婦が感染し、無治療の場合には死産または新生児期死亡の可能性があるため、ご心配な妊婦さんには早期に医療機関を受診されることをお勧めします。また、保健所、厚生センターでも匿名で検査を受けることができます。

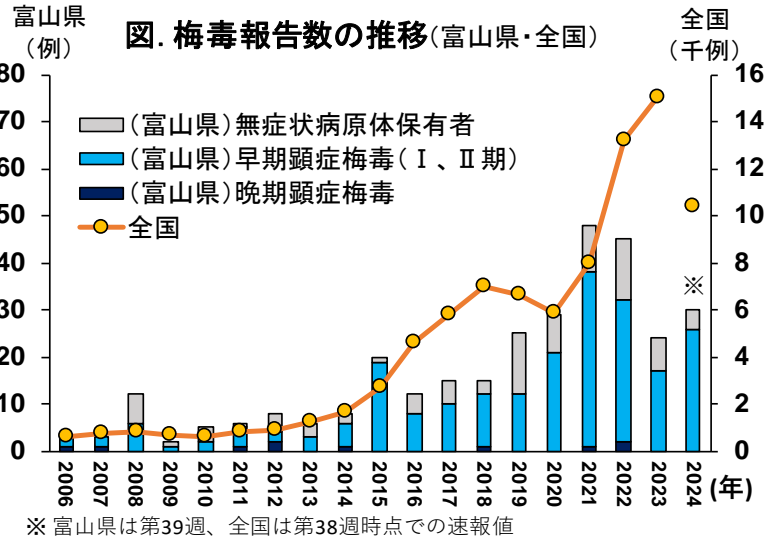
《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件（70歳代、男性）
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件（20歳代、女性、O157、VT2）
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件（60歳代、女性、C群G群）

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	手足口病	21.38（↑）	17.62
2位	感染性胃腸炎	2.93（↑）	2.90
3位	COVID-19	2.44（↓）	4.13
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.14（↑）	1.90
5位	R S ウイルス感染症	0.83（↓）	0.90
6位	ヘルパンギーナ	0.59（↓）	0.69

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>
※第9週分以降、URLが変わりました



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第39週 令和6年9月23日～令和6年9月29日）

分類	疾患	今週報告分（第39週）					累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核				1		1	11	5	28	9	39	92
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							7	4	14	6	23	54
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1		2	8	3	6	19
四類感染症	E型肝炎											2	2
	ポツリヌス症											4	4
	レジオネラ症							3	2	9	3	17	34
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2		4		8	14
	急性脳炎									1		1	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	1		4	1	10	16
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
	ジアルジア症											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	5	9
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7
	水痘（入院例）							1	1				2
	梅毒							2		6	5	18	31
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									2			2
	百日咳											1	1
	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	2		1		1	4	1,085	1,032	4,045	1,567	5,077
COVID-19		0.29		0.08		0.06	0.08	39	16	29	12	21	117
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	39	16	29	12	1.31	2.44	2,366	1,217	3,859	2,121	3,150	12,713
	咽頭結膜熱	5.57	3.20	2.23	1.71	1.31	2.44	71	71	607	72	469	1,290
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		9	8	6	24	122	259	693	39	706	1,819
	感染性胃腸炎	0.25		1.13	2.00	0.60	0.83	1.00		0.13		0.17	
	水痘	2		39		21	62	190	171	2,861	316	1,360	4,898
	手足口病	0.50		4.88		2.10	2.14	16	9	7	3	50	85
	伝染性紅斑	4.00	3.00	0.88	0.75	5.00	2.93	865	672	1,486	683	3,574	7,280
	突発性発しん	1		1	1	2	2	2	17	118	15	77	229
	ヘルパンギーナ	26	80	225	23	266	620	26	80	13	0.25	0.07	
	流行性耳下腺炎	6.50	26.67	28.13	5.75	26.60	21.38	2					
	急性出血性結膜炎		2			1	3	1	6	8	2	10	27
	流行性角結膜炎		0.67			0.10	0.10						
	無菌性髄膜炎		1	3		3	7	9	14	117	30	109	279
	マイコプラズマ肺炎		0.33	0.38		0.30	0.24	2					
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2		4	3	8	17	81	26	103	82	228	520
	急性出血性結膜炎	0.50		0.50	0.75	0.80	0.59						
無菌性髄膜炎							3	1	7	3	9	23	
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										3		3
流行性角結膜炎							8	2	33	5	10	58	
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
	マイコプラズマ肺炎			1		1	2	1	6	26	6	13	52
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1.00		1.00	0.40			1			1
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）	1					1	1					1
	COVID-19による入院患者	4	1	2	2	8	17	215	160	195	235	566	1,371

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

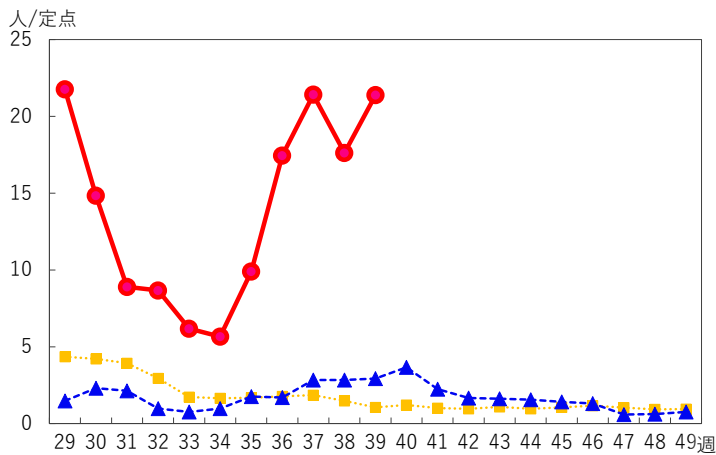
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第39週（9月23日（月）～9月29日（日））

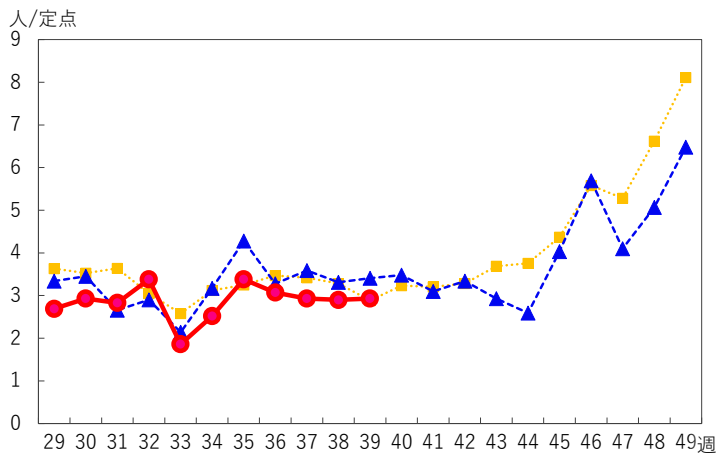
10月2日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

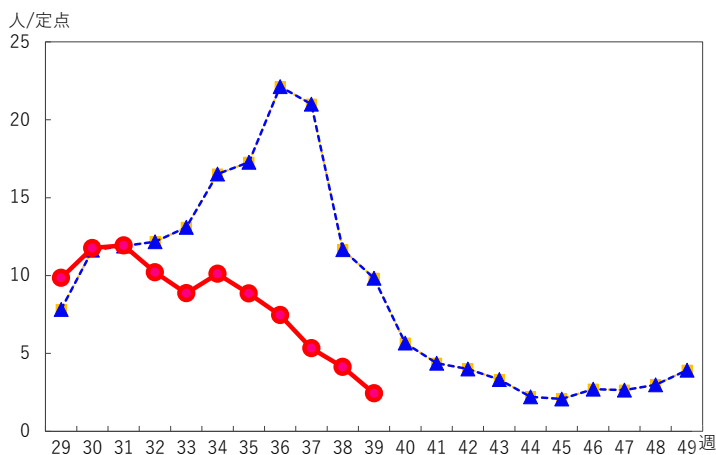
手足口病



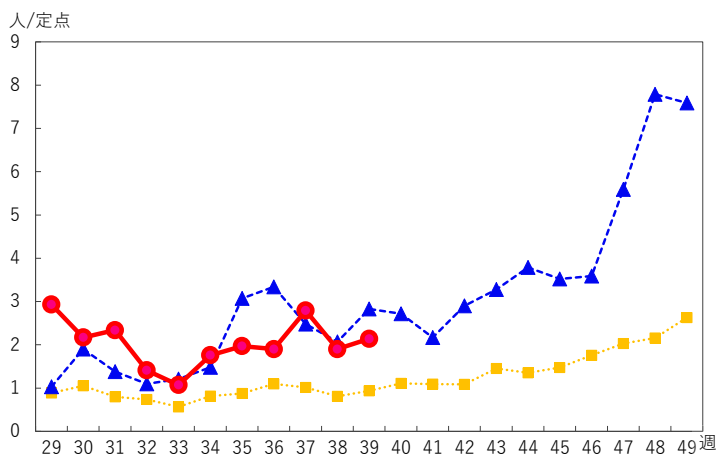
感染性胃腸炎



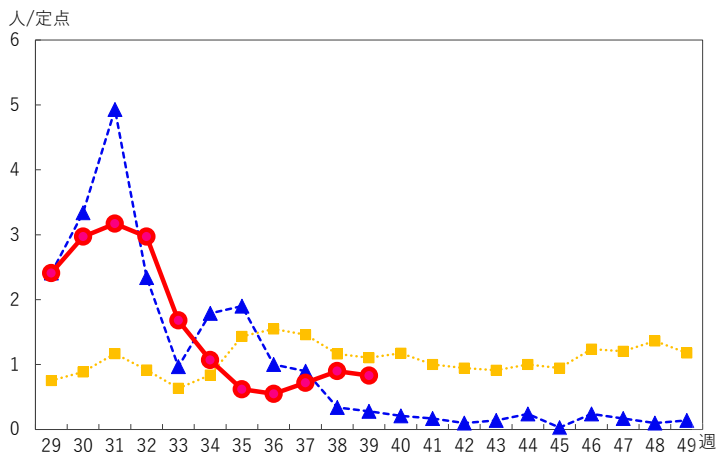
COVID-19



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



RSウイルス感染症



ヘルパンギーナ

